

2020年11月30日
国際機関日本アセアンセンター

**SDGsにも貢献する？最先端の東南アジア昆虫食事情を紹介
419種類の虫を食べつくした昆虫食専門家・佐伯真二郎氏による
授業動画『世界が追いかけ始めた東南アジアの昆虫食』
日本アセアンセンターが全国の中高生を対象に配信**

国際機関日本アセアンセンター（所在地：港区、事務総長：藤田正孝 以下、センター）は、全国の中学生・高校生を対象とした昆虫食に関する授業動画「世界が追いかけ始めた東南アジアの昆虫食」を制作し、12月1日より、センターのYouTubeチャンネル（チャンネル名：[ASEAN-Japan Centre](#)）にて一斉配信します。

世界から注目を浴び始めているASEAN¹諸国の「昆虫食」を、SDGs・昆虫食ビジネス・国際協力の切り口から学ぶ特別授業動画です。ASEAN諸国への興味、異なる食文化への理解、地球規模の課題への関心を高めることを目的としています。講師には、現在ラオスを主な活動拠点とし、419種類の虫を食べつくした『蟲ソムリエ』として活躍されている昆虫食専門家・佐伯真二郎氏をお招きしました。

【動画詳細】

■タイトル： 『世界が追いかけ始めた東南アジアの昆虫食』（約25分）

■対象： 主に中学生・高校生

■配信方法： 日本アセアンセンターYouTubeにて公開
（学校関係者には別途案内を送付予定）

■内容：

1. 蟲ソムリエ？佐伯先生は何者？！
2. 日本の昆虫食文化
3. なぜ昆虫を食べるの？
4. なぜ今、昆虫食が注目されているの？
5. 東南アジアの昆虫食文化最新事情
昆虫食ビジネス先進国タイの事例
6. 佐伯先生のラオスでの活動 NPO法人 ISAPH
昆虫を使った栄養改善プロジェクト
7. 日本の昆虫食研究
8. 昆虫食が宇宙食に？！
9. 佐伯先生からみなさんへのメッセージ



¹ ASEAN(東南アジア諸国連合)とは、1967年に結成された地域協力機構。加盟10カ国(ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)の総人口は6億5千万人を超える。

【佐伯真二郎氏 プロフィール】

Twitter フォロワー1.2万人 2020年10月発刊『おいしい昆虫記』著者

昆虫食を通じ、昆虫と人間の関係をより良くする「蟲ソムリエ」の活動を昆虫学からアートまで幅広く続ける。現在はラオスに滞在し、ラオス農村部の栄養と所得を改善するため、昆虫養殖普及の技術開発を担う。これまで419種の昆虫を味見して記録し、味の昆虫図鑑を作ることが次の目標。2015年神戸大学農学研究科博士後期課程単位取得退学。2014年からNPO法人食用昆虫科学研究会理事長。NPO法人ISAPH昆虫食専門家。

センターでは、全国の中学生・高校生を対象にASEANとASEAN諸国への理解を深めることを目的とした、グループ訪問受け入れプログラムを提供して参りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、オンラインによるサービスの提供を強化しています。

<<国際機関日本アセアンセンター>>

正式名称：東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター

ASEAN10カ国政府と日本政府により1981年に設立。貿易・投資・観光・人物交流の4分野を軸に、ASEAN諸国から日本への輸出の促進、日本とASEAN諸国間の直接投資、観光及び人物交流の促進を通して、日本とASEAN諸国との関係促進に貢献する国際機関です。

<<本リリースについてのお問合せ>>

国際機関日本アセアンセンター 事務総長室・広報

東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル 1F

電話：03-5402-8118 Fax：03-5402-8003 E-mail：toiawase_ga@asean.or.jp